

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2023年5月21日（日）13時00分～15時00分

場 所：日本天文学会事務所（オンライン開催）

出席理事：山本、太田、久保田、町田、鈴木(建)、酒向、鹿野、長瀧、古澤、富田、生田、米原、
深沢、西、北本、馬場、山村

欠席理事：江草

出席監事：花岡

欠席監事：奥村

また、井田次期会長候補、野村次期副会長候補、百瀬次期副会長候補、勝川次期庶務理事候補、鈴木(竜二)次期会計理事候補、安東次期 PASJ 理事候補、津村次期月報理事候補、廿日出次期年会実行理事候補、大朝次期天文教育理事候補、金田次期年会開催地理事候補、楠瀬次期年会開催地理事候補、野澤次期年会開催地理事候補、石川次期ダイバーシティ担当理事候補、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。茂山シリーズ「現代の天文学」英語版ワーキンググループ委員長が、議題 II-8 のために出席した。なお、富田理事、生田理事は 14 時過ぎからの参加である。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が 15 名(最終的に 17 名)で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、前回（2023 年 3 月 10 日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

日本天文学会の 2022 年度事業・会計に関して山本会長が総括し、町田庶務理事に事業報告の説明、酒向会計理事に決算報告の説明をそれぞれ指示した。また、続く各議題に関しても山本会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 日本天文学会 2022 年度事業報告書の承認(資料 4、町田)

2022 年度の事業報告が説明され、賛成多数で承認された。

II-2. 日本天文学会 2022 年度決算書の承認(資料 5、酒向)

2022 年度の決算書が説明された。2021 年度から引き続き、2022 年度も COVID-19 の影響で公益目的事業が若干黒字となり公益社団法人として適正でない状況であることが説明された。一方でこれは一時的なものであり、COVID-19 の影響が解消されつつある現状を鑑み今後 3-5 年以内に適正な状態に戻る見込みである。このことは佐藤会計士も確認していることが説明された。決算書は賛成多数で承認された。

II-3. 新規加入者の承認（資料 6、鈴木）

2023 年 3 月 7 日～2023 年 5 月 14 日までに正会員入会申請 28 名、準会員入会申請 14 名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-4. 名誉会員の推薦について(資料 7、山本)

3名の推薦者からの推薦を実務理事会で検討し、定款第8条に照らして小平桂一を名誉会員に推薦することが提案された。理事会として代議員総会に提案することが賛成多数で承認された。

II-5. 次期推薦委員会の委員について(資料 8、町田)

次期推薦委員6名(うち2名が継続)が提案され、賛成多数で代議員総会に提案することが承認された。

II-6. 次期選挙管理委員会の委員について(資料 9、町田)

次期選挙管理委員5名が提案され、賛成多数で承認された。

II-7. 第8期代議員定数について(資料 10、町田)

定款29条に従い、2024年度からの第8期代議員定数を46名とすることが提案された。なお前の期の44名から2名の増加となっている。提案は賛成多数で承認された。

II-8. シリーズ現代の天文学の英語版発行について(資料 11、茂山)

「シリーズ現代の天文学」の各巻について、英語版教科書として編集責任者から提案し Springer 社からの review を受け承認されたものから順番に、英語版を出版していくことが提案された。まず10巻「太陽」と13巻「天体の位置と運動」の契約を先行して行う予定である。この2巻の Springer 社との契約を日本天文学会として締結すること、謝礼及び献本が日本天文学会に帰属することが、賛成多数で承認された。また、「シリーズ現代の天文学」の状況を継続して理事会と情報共有することが重要であることが、報告された。

II-9. 天文教育委員会への委員の追加について(資料 12、富田)

男女共同参画委員会と連携の補強のため、天文教員委員会への1名の委員の追加が提案された。提案は賛成多数で承認された。

II-10. 2025年春季年会開催地について(資料 13、町田)

2025年春季年会の開催地として茨城大学(開催地理事候補:野澤恵氏)が提案され、賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 日本天文学会 2022年度監査報告(資料 3、花岡)

事前に提出された2022年度の事業報告書および財務諸表に基づき、2023年5月12日に監査を行った。各種事業の運営と予算の執行に基づき、事業報告書および財務諸表が適正に作成されていることを確認したことが報告された。

III-2. 移籍・退会等の報告(資料 6、鈴木)

2023年3月7日~2023年5月14日までに正会員退会171名、準会員退会66名、団体会員4団体があったことが報告された。

III-3. 第8期代議員選挙について(資料 10、町田)

電子投票を主手段とし、投票用紙による投票を設けるかどうかは検討中であることが報告された。投票用紙を用いる場合は、2重投票対策のため、事前申し込みとする予定である。

III-4. 天文教育委員会からの報告（資料 12、富田）

(i)2023 年秋季年会の天文教育フォーラムの準備状況、(ii)男女共同参画委員会と連携した女子中高生夏の学校への対応状況、(iii)IAU OAE（教育のための天文学推進室）の天文教育コーディネーター（NAEC）日本チームの活動状況が報告された。他に、この期間には講師紹介プログラム、監修者紹介プログラムには新規依頼はなかったこと、国際天文学オリンピック（IAO）への日本からの学生自主団体参加は、2022 年 10 月に東京大学木曾観測所でのオンライン参加で大きな事故なく実現したとの情報を得たことが報告された。

III-5. PASJ 編集委員会からの報告（資料 14、長瀧）

(i)物価上昇にともなう、機関購読料とオープンアクセス掲載料の値上げ (ii)論文投稿と特集企画提案の呼びかけ (iii) APRIM(国際天文学連合アジア太平洋地域会議)2023 へのブース出展 (iv) 次期編集委員会への引き継ぎに関して報告された。

III-6. 年会開催に関する Task Force からの報告（資料 15、太田）

2023 年春季年会のハイブリッド方式での開催については、おおむね好評である。今後の開催方式としても、毎回ハイブリッド方式での開催の希望が多数であり、オンラインからの参加の具体的方法については開催地の状況に従うという意見が最も多かったことが報告された。

III-7. ジュニアセッション・アンケートについての報告（資料 16、山村）

春季年会において、高校生・大学生などの非会員から、通常セッションへの聴講希望が多数あったことを踏まえて、ジュニアセッション参加者に対してアンケートを行った。ジュニアセッション発表者・指導者 1 名が通常セッションを聴講できる制度は活用されている。また、ジュニアセッションとは関係なく聴講を希望する人が一定数いる一方で、準会員制度があまり知られていない状況が明らかとなったことが報告された。今後準会員制度の周知を積極的に行う予定である。

III-8. 年会実行委員からの報告（資料 17、古澤、金田）

(i)2023 年春季年会(立教大学)が無事終了したこと、(ii)2023 年秋季年会(名古屋大学)で現地主体のハイブリッド開催(会合開催の受付を再開、公開講演会は名古屋市科学館と共催、懇親会はなし)での準備が進んでいること、(iii)2024 年春季年会(東京大学)の開催方式は未定であるが、3 月の第 2 週に通常セッション・全体集会(完全オンライン)と企画・記念講演・受賞セッション(現地開催)を行う前提で準備していることが報告された。

III-9. 事務所報告（佐藤良）：

特になし。

III-10. 日本天文学会からの感謝状（山本）：

これまで TENNET などの日本天文学会のネットワーク関連の業務を、実質ボランティアで担当された、鈴木知治氏に次回代議員総会で感謝状を贈る予定であることが報告された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2023 年 3 月 10 日）議事録（案）

- 資料 3 公益社団法人日本天文学会 2022 年度 監査報告書
- 資料 4 公益社団法人日本天文学会 2022 年度事業報告書 (案)
- 資料 5 公益社団法人日本天文学会 2022 年度決算報告書 (案)
- 資料 6 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告
- 資料 7 日本天文学会名誉会員の推薦
- 資料 8 次期推薦委員会の委員候補者について
- 資料 9 次期選挙管理委員会の委員の選任について
- 資料 10 第 8 期日本天文学会代議員選挙について
- 資料 11 Springer 社との契約に関して シリーズ現代の天文学 英語版出版
- 資料 12 天文教育委員会より承認のお願い、および、前回理事会 (2023 年 3 月 10 日) 以降の活動報告
(2023 年 5 月 2 日現在)
- 資料 13 年会(2025 年 3 月)開催地について
- 資料 14 PASJ 編集委員会からの報告
- 資料 15 春季年会(立教大学)に関するアンケート結果
- 資料 16 非会員の天文学会年会講演の聴講希望および準会員制度の認知度について ジュニアセッション
参加者アンケート結果の共有
- 資料 17 日本天文学会理事会 2023 年 5 月 年会実行委員会活動報告

2023 年 5 月 21 日

会 長 : 山本 智 印

副会長 : 太田 耕司 印

副会長 : 久保田 あや 印

監 事 : 花岡 庸一郎 印